

取付説明書

ZETA ピボットレバー-CP/FP

この度は ZETA ピボットレバー-CP/FPをお買い上げいただき、ありがとうございます。

1. 注意事項

- ・製品に対し、加工、改造を行わないで下さい。
- ・取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。
- ・レバー本体の刻印の末尾にMのある製品と無い製品では、リブレスメントレバーアームの互換性がありません。

取り付けされる前に、必ず製品の状態をご確認いただき、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

- ・既に車輛に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し、使用できない場合があります。
- ・取り付け後に必ずハンドルを左右いっぱいまできり、干渉等の不具合がないか確認して下さい。干渉する場合、レバーの取り付け角度を変えるなどの微調整を行なって下さい。

2. 取り付け方法

クラッチ/ブレーキスイッチプッシュロッドの取付方法

※一部の製品には、別体のクラッチ/ブレーキスイッチプッシュロッドが付属します。車輛にレバー本体を取り付ける前に、プッシュロッドの組

付属のボルトを使用し、レバー本体にプッシュロッドを取り付けます。(図1参照)

※プッシュロッドの取り付け方向が違っていたり、斜めに取り付けられた場合には、クラッチ/ブレーキスイッチが正常に機能しない、スイッチを破損させる等の原因となります。※レバー本体を車輛に装着した後は、必ずプッシュロッドとクラッチ/ブレーキスイッチの状態を確認してください。

レバーの取り付け方法

- 1) 車輛から純正レバーを取り外し、作動部を洗浄します。
- 2) 作動部に潤滑剤を塗布し、レバーを取り付けます。
※純正レバープッシュカバーを使用する際には、カット等の加工が必要です。
- 3) クラッチレバーの場合は、クラッチワイヤーの遊びを調整します。
ブレーキレバーの場合は、車輛をスタンド等にのせ、前輪を浮かせた状態にし、ブレーキの引きずりがいいかを確認します。
- 4) アジャストボルトを調整し、レバーとグリップまでの距離を固定します。(図2参照)
※A方向から見て時計方向に回すとレバーが近くなり、反時計方向に回すとレバーが遠くなります。調整後はロックナットを確実に締付けて下さい。
- 5) 走行する前に必ずボルトの緩み、センサー、クラッチの切れ具合などを確認します。
- 6) 定期的に作動部を分解し、洗浄・グリスアップをしてください。

図1

ボルト

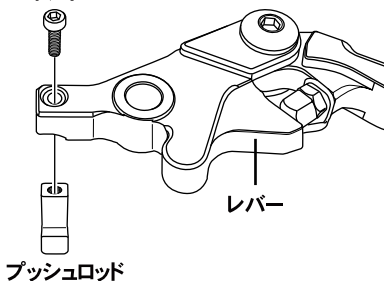


図2

ロックナット

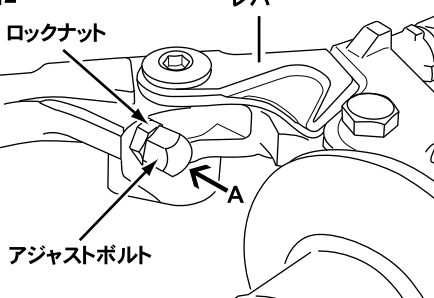
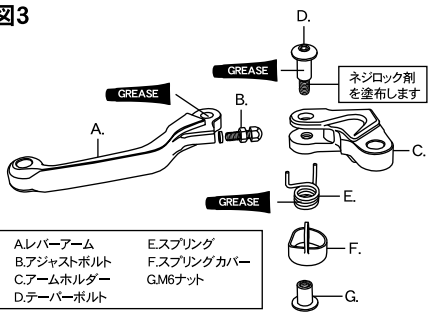


図3



- 1) A.レバーアームからB.アジャストボルトを取り外します。
※スプリングが変形する恐れがありますので、必ず先にアジャストボルトを取り外してください。
- 2) G.ナットを緩め、E.スプリング、F.スプリングカバーを取り外します。
- 3) D.レバーマウントボルトを緩め、A.レバーアームを取り外します。
- 4) 各部を洗浄し、必要箇所へグリスを塗布します。(図3参照)
※各部の傷み具合を確認し、ひどい場合は交換してください。
- 5) D.レバーマウントボルトを使用し、C.アームホルダーにA.レバーアームを取り付けます。
※レバーマウントボルトのネジ山に、ネジロック剤を塗布します。
- 6) E.スプリングをC.アームホルダーとA.レバーアームの取り付け穴に差し込みます。
- 7) E.スプリングにF.スプリングカバーをかぶせ、G.ナットで締め付けます。
- 8) A.レバーアームにB.アジャストボルトを取り付けます。